



イクコママの乳がん日記 ⑪

放射線治療がスタート

右胸に乳がんが見つかったイクコさん(42)。約半年間の抗がん剤治療の後、乳輪・乳頭を残す「皮下乳腺切除術」で右胸を切除しました。術後は心がモヤモヤして不安になってしましましたが、看護師さんな

ど周囲に相談することで自分の選択に自信を持つことができました。リコちゃん(4つ)とゴー君(1歳5ヶ月)の子育てをしながら、次は放射線治療が始まります。

(第4週に掲載)



毎日の治療プレッシャーに

2013年11月

今度は放射線治療！他の病院で受けないといけないので5カ所から選ぶ。放射線治療は毎日(土日・祝日除く)で計25回の予定。子どもが急に病気になって幼稚園を休んだら…。またもや心配事がいろいろ…。心配事は放射線の先生に確認。「何かあればその都度言ってね」と言われ、ちょっと落ち着いた。

毎日なのでプレッシャーだったけど、大好きなロングブーツとマフラーで気持ちを盛り上げ

る。治療が始まって約2週間後、朝起きるのがツラくなってきた。子どもたちを幼稚園に連れて行かないといけないのにドンヨリして座っていい…。私はどうしてこんなに急げ者のママなんだろうと落ち込んでいたけど、もしやと思って先生に聞いたら副作用らしい。「副作用なら仕方ない！」と気が楽になって、だるさも1週間でなくなった。乳がんの治療で一番つらかったかも。普通の生活ができないってほんとにツライんだね。そうこうしているうちに治療も終わり。なだか名残おしい…。

通院便利な施設選んで

乳がん手術後の放射線は基本的に50グレイ、または60グレイという線量を照射します。1日2グレイずつなので、回数は25回、あるいは30回。月～金曜まで毎日で、5～6週間かかります。

県内で放射線治療を行える病院は、那霸市立病院、南部医療センター、沖縄赤十字病院、南部徳洲会病院、中部病院、琉大病院の6カ所です。医師の技量や放射線施設の精度に特に差はありません。病院を選ぶ際に一番良いのは、家庭や職場から便利な施設を選ぶことだと思います。

監修・玉城研太朗医師
(那霸西クリニック 乳腺外科)